

入賞 四季の香りに誘われる老人憩の家づくり

企画者：愛媛県宇和島市／宇和島市老人クラブ連合会三間支部

評価点：コスモまつりなど花に関する取組が盛んな地域において、市営の老人温泉施設を舞台に、バラ、キンモクセイ、アジサイ等の樹木・草花 355 本を植栽する企画である。情熱的な赤色と香りを持つバラやキンモクセイやサクラ等の花と香りにより四季の風情を醸し出すことで利用者の拡大を目指し、地域老人クラブや自治会の協力を得ながら維持管理等を行い地域コミュニティの向上につなげようとする点などが評価された。

入賞

四季の香りに誘われる老人憩の家づくり

企画者 宇和島市 / 宇和島市老人クラブ連合会三間支部

企画の目的（ねらい）

宇和島市三間町は花に関する取組が盛んで、とりわけコスモまつりは、西日本、九州地方からも来場者があり大イベントになっている。こうした花に敏感な土地柄にある、山間地のひなびた市営の老人憩の家（温泉施設）は、あまりにも平凡で魅力に欠けている。そこで市と地域老人クラブが共同で当企画を立案し、施設のイメージアップと環境アップを図り、相乗効果により利用者拡大につながる「四季の香りに誘われる老人憩の家づくり」を計画した。施設は植栽する花木の開花と香りにより、四季時計を演出し季節の移ろいを楽しめ、多くの高齢者また市民が集う憩いの場としたい。当施設の用地は、1606㎡（建ぺい率16%）あり、施設の周りを赤いバラ（春と秋に咲き香りの良いオマージュ、A. バルバラ）で囲み、この施設のイメージを常に赤いバラに囲まれ元気（情熱・若さ）が発信されアロマ効果が期待できるものにした。また、香りある高木（こぶし、桜、楠レッドモンロー、キンモクセイ等）を植栽し、開花と香りにより四季の風情をかもしだす。高木の裾には生け花的感性をもって、ロウバイ、シモクレン、クチナシ等を配植し、更に日当たり水はけ等を考慮し、宿根草である芝桜、花菖蒲、桔梗、千両等を植付け、花好き市民の関心を集めたい。また花木の植栽から維持管理は市と地域老人クラブが主体となるが、地元自治会や花愛好家の協力を得ながら、花を咲かせる楽しみや、花木の美しさ、アロマ効果等を味わい地域コミュニティ向上を図りたい。更に四季の香りに誘われる、当施設利用者年間20,000人を達成したい。

宇和島市・三間町老人憩の家 現況



企画の効果

- ① 施設のイメージが変わり（赤いバラに囲まれた老人憩の家）話題性が生まれ、多くの高齢者や市民が集う憩いの場ができる。
- ② 老人憩の家（温泉施設）に香り（アロマ効果）の付加価値をつけて、施設サービスを提供できる。
- ③ イベント（花の香りの温泉まつり等）の開催につながり集客ができる。
- ④ 高齢者また市民が、花木の植栽や維持管理をとおし、花を咲かせる楽しみや、花木の美しさ、アロマ効果等を味わい、生きがいやコミュニティ向上が図られる。

企画実施場所

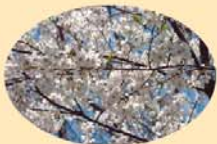


企画実施後



四季の香りを演出する花木

桜ノメイヨシノ
4本



こぶし
2本



キンモクセイ
2本



ゆず
4本



楠レッドモンロー
1本



ロウバイ
1本



シモクレン
3本



千両
100本



桔梗
30株



オマージュ、A. バルバラ
100本



ソシンロウバイ
1本



クチナシ
4本



ライラック
3本



芝桜
50株



アジサイ
50株

